

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念研修は年に1回社長自らして下さっており、事業所内でも悩んだ時は理念ってなんだったかなと問いかけ、一緒に実践し理解に繋がる様子を掛け皆で意識し実践しております。運営理念は研修後に提出されるレポートにて職員の理解度を把握し、現場でも管理者等が助言したり職員間で共有しております。	理念「自分が住みたいホーム、自分の家族を、住まわせたいホーム」の自分で誰か？私なのか？を管理者が職員に説いて職員が提出したレポートを見て、理念の理解度をチェックし、研修を行い理念の徹底を図っています	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏のラジオ体操、夏祭り、夕涼み会、餅つき、フリーマーケットなど団地で開催されるものは参加させて頂いて、9月には庭でバーベキューを行っています。コミュニティサロンの店内にはご利用者様が制作した髪飾りやプレスレットを置かせて頂き販売させて頂いています。	利用者が地域の方と交流し笑顔いっぱいの写真に書き添えてあるコメントで事業所の実践状況を読み取れます。コミュニティサロンで利用者が作成した物品を販売し利用者の生きがいをもち続ける支援をしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェ「すももCAFE」を毎月開催しております。ご利用者様がスタッフとしておもてなし関わる事で認知症の方の理解に繋がる機会になればと思っております。パン屋で営業時間での開催になり、益々広い地域の方との関わりが増えていきます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では活動報告を通じて沢山の意見を頂きサービス向上に努めております。また、自治会役員、民生員、包括支援センター職員、ご利用者様ご家族、職員など多数参加されています。今年度より近隣のグループホームとの合同開催を始め、地域の方々にも他事業所を見て頂き、お互いがサービス向上していけるように努めています。	推進会議で参加者から災害があった時、職員が駆け付けるのに要する時間を質問され、実際に測ってみて正確に解かり、今後に生かすことが出来ました。推進会議を近隣のグループホームと合同で開催し事業所の向上に役立てています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	何か困った事があった場合は市の担当者と連絡を密にしその時の助言を参考にしています。	地域と共に生活したいと願って地域とのかかわりを多く持っています。市町村とも同様に積極的にかかわり、情報や助言を得られるように、質問や書類の提出も電話や郵送だけでなく直接持参して話す機会を作っています	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	今年度より身体拘束検討委員会を立上げ、日頃のケアに視点を変えより良いケアになる様話し合い報告し、見直しを常に念頭に入れて職員一同身体拘束廃止に取り組んでいます。	身体拘束委員会では、職員からのアクシデントレポート、ヒヤリハットレポートを検討し、その結果に基づき研修を行っています。身体拘束はなぜダメなのかを職員全員が理解、共有して身体拘束しない支援に取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に2回虐待防止の研修を行い、身体拘束検討委員会でも取り上げ防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご利用者様に成年後見制度を利用されている方がいらっしゃるの、制度について学ぶ事で後見人様とも良い関係を気づけております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項説明書を用いて十分な説明をし理解して頂き、また都度不明点の確認を行っています。契約時だけでは無く、不安な事など常に連絡が出来る状態を確保し、不安や心配の無い様取り組んでおります。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様、ご家族様からの不満苦情の訴えがあった時は管理者へ報告し直ちに会議や申送り等で共有する等日頃から対応する様に心掛けている。	利用者の意見要望は日常の関わりで把握し個人ノートに記入して運営に活かしています。家族の要望は面会時に直接聞いています。なかなか面会に来られない家族には手紙や電話で連絡を取り聞けるよう努めています。	家族は「今のままで良い」等積極的に意見要望を言わない現状を見て、事業所から聞きたい項目を積極的に訴えるなどして言いやすい環境整備をすることを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月全体会議を行い、管理者会議の内容から職員に伝えるべき事柄を伝え理解をして頂いています。その際に意見や提案を頂く事もあります。真摯に受け止め代表者に伝えたり不満や要望など聞きやすい環境を整える様努めています。	職員の意見や希望を記入する、申し送りチェック表を作成し時間をおかず管理者に伝わり、管理者は法人会議で伝え結果を職員に伝える仕組みが出来ています。管理者は職員の一員として職員と長い時間関わり、なんでも言いやすい関係を築いています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課表を用いて努力や実績を評価し、評価するだけでなく、一緒に向上していけるよう見直し、またやりがいに繋がっているよう目標の設定をしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に2回個人面談を行い、普段感じている事や自分の課題について取り組めてきたか、達成度や、取り組みなかった背景等を一緒に考えています。社内の研修でも自分を知る機会、接遇、倫理など学ぶ機会を作っています。外部での研修の参加も促しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議での近隣の事業所との交流、GH連絡会への参加、地域の活動に積極的に参加し学ぶ機会を得てケアの質を落とさない様、また向上出来る様情報を収集する様にしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	理念に基づき、ご利用者様が心地よい、住みやすい私の家になる様不安を取り除きやりたい事を実現していけるよう関係作りに重点を置いています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用者様がどの様に過ごされているか常日頃から、面会時やお手紙、携帯メールなどで密にし、サービス導入をスムーズに行える様コミュニケーションをとっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様とご家族様の状況を把握し、介護や日常生活での希望を伺い、必要に応じて当社が運営するデイサービスも視野に入れ相談に応じている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援・残存機能の活用を原則とし、家事全般ご利用者様に集約としてやって頂いています。中には職員と勘違いされていらっしゃる方もおられたり、職員の相談にのって下さる方もおられる程互いに支え合っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様と共に支援計画を確認、見直しし互いに最良のケアを探り出しご利用者様を共に支えていけるようにケアプランや連絡を密にしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	社会から孤立されない様、老いてもなお顔見知り出来るよう地域に出掛けて行き、知人とも可能な限り関係を継続していけるよう習い事も含め支援しています。	今までの趣味の継続が出来るように自治会の方が送り迎えをする支援をしてくれて趣味が継続しています。コミュニティーサロンに出かける支援をすることで、馴染みの方との関係が続きまた新たな方との関係も出来ています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様が出来る事を見つけ担って頂く事で他ご利用者様との関わりも作り良好な関係作りが出来るよう支援させて頂いています。関係を築きにくい方には職員が間に入り孤立しない様支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご逝去以外の退去が無く、ご逝去され退去となった方との関係の継続はしております。但し、ご利用者様ご逝去後に、相談等はいつでも受ける事をお伝えしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話からご利用者様の思いを聞き取りケアプランに活かしております。会話だけでなく、表情・行動からも情報は収集し思いに寄り添える様努めております。	個人ファイルには、日ごろの行動、バイタル、睡眠・食事の様子、ADL等誰が見てもすぐわかるように記入している為、個人の情報は職員間で共有出来ています。理念に則り介護者本位でなく利用者本位で支援しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様が面会された時など、昔に得意だったことや好きだった事をより細かに聞き取る様にしています。それをヒントにご利用者様と一緒に暮らしやすいように配慮しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	時間軸にとらわれすぎないようにお誘いすることを念頭に入れ、ご本人様が自由に生活スタイルを選べるようお声掛けさせて頂いています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	課題やケアのあり方について、月に一度行っている会議の中で共有し話し合いを行っている。必要に応じてケアプランに盛り込んでいる。	検討会議で利用者、家族、職員等利用者にかかわりがある全ての人の意見を聞き利用者一人ひとりの現状に合った、利用者本位の介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	必要な情報共有は送りノート、ケース記録にて各自出勤時に確認するよう徹底しております。又、全体会議にて話し合いの場を設け、意見交換をし皆で計画、実践しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様の気持ちに寄り添い支援させて頂くので、外出をしたい時にお連れ出来ればさせて頂いています。買物や、ドライブ、ご家族様とのお出掛けに同行させて頂く事もあります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	夏祭りでは、市で行っているボランティアを募り参加して頂いています。町会の様々な催しにも参加し、避難訓練を通じ町会の方々の関係を保ち安全安心な生活を出来る様支援させて頂いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診療を皆様受けておられます。ご利用者様にきちんと説明して下さい皆様信頼しておられる様子です。24時間対応のコールセンターもあるので職員も安心して相談出来ています。	契約時に事業所の医療体制を家族、利用者に説明して訪問医師による治療を受けてもらう様にしています。どうしても訪問医師で対応が困難な場合は家族とともに職員がかかりつけ医院に同行しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に来て診て頂き、ケアについての不安や困っている事を相談出来ています。丁寧に教えて下さいますしご利用者様もしっかり見て下さっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	面会に行き、多職種の方から情報を得られる様にしています。病院からのカンファレンスにも必ず参加し、早期退院出来る様に支援させて頂いています。退院時には診療情報影響書にて訪問診療に来られる医師や看護師に必要な情報を伝え、良好な関係が築けております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化した時の指針をご理解いただき署名頂いております。体調が悪い時等ご家族様と万が一に備えての話をさせて頂く事も御座います。医師、看護師からの助言もお伝えし、ご利用者様の事を一緒に考える機会を作っております。実際お看取りをさせて頂きました。	利用者には入所時に看取りの指針を説明し、理解を進めた上で署名を得ています。利用者、家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、納得した最期を迎えられるように随時意思を確認しています。職員には見取り研修を行いレポートの提出を義務化しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所内研修にて緊急時対応を身に着く様、分からない事をそのままにしない様フォローしております。またマニュアルを作成し目につく所に下げ、いつでも閲覧出来る様にしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	金杉台団地の有志の方が駆けつけ隊を結成して下さいしている為一緒に防災訓練を年2回実施しております。24時間いつでも駆けつけて下さる協力体制が出来ております。	職員は地域の方とAEDの使い方の講習を受けています。また、地域の方と利用者が一体となって消防訓練を行っています。地域の有志で駆け付け隊を結成しており、災害時には避難した利用者を見守るなど、地域の協力体制が出来ています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念研修を通じご利用者様一人一人の生きてきた歴史や願いや思いをくみ取ったお声掛けを心掛けています。また身体介助時などプライバシーを保持できるよう配慮する様にしています。	職員は利用者と家族の様に接しています。その中で利用者の尊厳と権利を守り、利用者本人の気持ちを大切に、自己決定しやすいように工夫した言葉かけをし、利用者本位のケアをしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事一つ、入浴一つをとってもどうか、と尋ねご利用者様の自己決定が出来るような支援を大事にしています。難しい方へは選択肢の中から選んで頂ける様支援させて頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝がゆっくりの方や夜遅くまで起きている方、入浴を遅くにした方様々ですがご意向をお聞きし、出来る限り対応させて頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご利用者様の希望があった際、季節の衣類が摩耗してしまっている場合など適時衣料品店に買物に行っております。思いもよらずバックや靴を購入される事も職員と共に楽しめるよう支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	台所仕事は取り合いになる程皆様積極的でそしてお上手なので、見守りの中様々な事をやってくださっています。得意料理をふるまって下さる事もあります。見た目や香りも楽しんで頂ける様、季節の物を使用し楽しんで頂ける様一緒にメニューから決めております。また月一回の夕食も楽しみにされています。	食事をみんなで楽しむため一緒になって食事の用意や片付けをしています。メニューも季節を感じられるよう旬の食材を選び旬も考慮してみんなで決めていきます。誕生日には特別食で祝い、楽しい食事会を行っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分チェックは適時行い、補水が必要な方には声を掛け一日1リットルから1.5リットルを目指して摂取して頂いています。お一人お一人の健康状態に合わせ柔軟に対応させて頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後職員が付き添い口腔ケアのお手伝いをさせて頂いています。磨き残しなどの原因の除去、口腔内のトラブルの早期発見に繋がる様支援しております。異常発見時は訪問歯科への診察に繋いでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご利用者様の希望に沿いながら、トイレでの排泄を主に、無理なく、自尊心を傷つけないよう適した排泄介助が出来るよう支援しております。又、排泄パターンも掴める様常に情報を共有しております。	利用者の排泄パターンを把握し、自尊心を傷つけない排泄介助が出来るよう何気なくトイレ誘導をしています。利用者の多くは日中布パンツで過ごしています。トイレで排泄する支援を最優先にした取り組みを行っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を沢山摂って頂けるように促しています。最近は甘酒を皆様良く飲まれています。毎日の体操・散歩も排便を促せるので実施しております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日で振り分けてはいますが、朝一番が良い方、夕方がいいかたといらっしゃいますがご本人様の希望の時間に入って頂ける様相談して入浴して頂いています。前後したり変更したりは適時行っております。ホワイトボードで管理しています。	入浴支援は週3回行っています。利用者の希望する時間帯を把握して出来る限り利用者の希望に沿う様にしています。同じ法人が経営するデイサービスの広いお風呂を年1回借りて、温泉気分を味わえる演出もしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室になっておりますので、横になりたい時、活動あと等声掛けも致しますが自由に休んで頂いております。夜間の眠りに支障の無い範囲にとどめられる様に適度な休息を意識しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	委員会にて服薬一覧表を作って下さったので各自に配布し変更があった際は各々記入して行くようにしています。処方変更があった際も申送りです。体調の変化に留意するよう声掛けをしています。注意すべき事柄は薬剤師より助言を頂き、不安な事も相談させて頂いております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽器の演奏が好きなお方にはエレクトーンを弾いて頂いたり、花札やったり、大好きな掃除をして頂いたりしています。下肢の筋力低下予防の体操もほぼ毎日行っております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族に会いたい、服を買いに行きたい、外食したい、など可能な限り実現出来るよう支援しています。食べたい物を買いにコンビニまで行くのが定番の方もおられます。コミュニティサロンに健康麻雀に通われている方は毎週です。	五感で季節を感じられるよう、悪天候でなければ毎日外出しています。個別に希望する外出支援を行い、外食、コンビニ、コミュニティサロン、健康麻雀に通うなど支援を行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しい物があればいつでも言って下さるような声掛けを工夫しております。そして一緒に買物を楽しんで頂けるように常に希望を叶えられる様支援させて頂いています。小額であればご自身で管理を認め所持されている方もおられます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様に予め電話をしてはいけない時間や内容をお聞きし、その時間であっても待つて頂いたりしながらもかけられる様声を掛けています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは飾りすぎない様にしています。季節感や食事と外出で感じて頂けるようにしています。ただ、皆様と相談して作りあげたものは飾り楽しんで頂けるように貼り位置や場所も皆様と相談しています。玄関周辺は季節の飾りをして楽しんで頂いています。	リビングには利用者が作った作品を飾り、また利用者の笑顔あふれる写真を貼っています、飾り過ぎない配慮をしています。「トイレはこちら⇒」の案内もあり、利用者が自立できる工夫をしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	視力や聴力、会話が好きな方、など個人個人の持っている力を発揮できるようなお席になっております。廊下もなにかも狭い作りになっておりますのでお互い譲り合いをしながら生活しておられます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今までご使用になられていた馴染みのある寝具や家具をお使いになられ、自宅と変わらない様な生活で過ごし事が出来る様にしています。家具の配置もご家族様やご本人様と相談して決めておられます。制作された物を居室に飾られておられる方もいらっしゃいます。	使い慣れた家具や身の回りの物を持ってきて、利用者が家族と考えた配置を行い、安心して過ごせるよう、自宅と変わらない居室作りを工夫しています。利用者が自分の作品を貼っている居室もあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	動線となる場所には物を置かない、段差には目印を付ける、分かりやすいポップを貼るなど工夫しております。ポップもご利用者様と一緒に作って頂いています。		